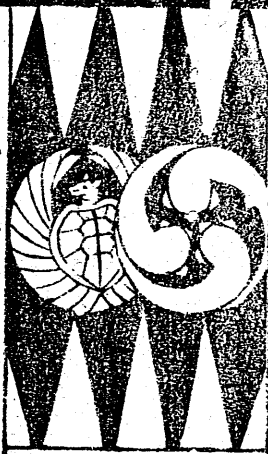


天璋士筆子の八行書



四條北側  
大芝居二面  
教舞妓  
狂言番附

天璋士筆子の八行書

# 天璋士筆子の八行書

けいせいのとくまのまき書初めは文才の習得に筆  
比翼のまろろけ傳授の筆も書いぬるの志乃も愛  
ん  
いも被る白紙にうせておのれの筆を練りし  
さしつゝもひひ咲ゆる人たつらぬ大自在

七冊  
手本

第八	大内山の雷鳴の代納る大自在天神	長 御出申十條	長 御出申十條
第七	天孫山の祈禱所なるも後には梅天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第六	長柄村の禊祓の天孫吉の御天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第五	地細の蟬のじいさ思ふは統御天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第四	揚屋入の大曲風の蟬の思ふは統御天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第三	鳴東の葉店の回文も列も且天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第二	古師村の蟬の思ふは統御天神	三 御出申十條	三 御出申十條
第一	岩山の遊魚の蟬の思ふは統御天神	三 御出申十條	三 御出申十條

後者替り名附別 第一又沙な依り